

- 問1 2000年時点の日本、アメリカ合衆国、イギリスにおける発電電力量の構成を比較したとき、自国に豊富な資源を持つ背景から、これら三カ国の中で発電に占める石炭の割合が最も高かった国を選びなさい。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. イギリス 2. フランス 3. 日本 4. アメリカ合衆国
- 問2 アメリカ合衆国の人口構成を分析した資料によると、特定の州において「ヒスパニック系」と呼ばれる人々の割合が20%を超えています。この人々の背景や特徴を説明したものとして、最も適切な内容を選びなさい。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. ヨーロッパからの初期の移民の子孫であり、五大湖周辺の工業地帯を支えてきた。 2. アフリカをルーツに持つ人々であり、歴史的に南東部の農業地帯に定住している。 3. メキシコや中南米諸国からの移住者とその子孫であり、スペイン語を話す人々が多い。 4. アジア諸国からの移住者であり、主に西海岸の都市部のIT産業に従事している。
- 問3 アメリカ合衆国がとうもろこしなどの農産物を大量に生産し、世界市場へ輸出できる背景には、広大な国土を活かした農業経営の特徴があります。その特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
1. 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業 2. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに栽培場所を移動する移動式焼畑農業 3. 季節ごとに異なる作物を同じ土地で交互に栽培し、地力の消耗を抑える三圃式農業 4. 限られた土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大化する集約的な農業
- 問4 世界の資源・エネルギー問題において、ある国の生活水準やエネルギーの使用効率をより多角的に把握するために、国全体の「原油消費量」をその国の「人口」で割って算出される指標の名称として、最も適切なものを選びなさい。 (2024年 香川県公立入試 類似)
1. エネルギー自給率 2. 単位GDP当たりのエネルギー消費量 3. 一人当たりの原油消費量 4. 原油輸入依存度
- 問5 アメリカ合衆国の人口構成の変化とその背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。近年の統計では、メキシコが最大の移民送り出し国となっており、それ以外にもアジア諸国やカリブ海諸国からの流入が目立っています。 (2022年 兵庫県公立入試 類似)
1. 北方の隣国であるカナダからの労働者が製造業の現場を支えており、北米自由貿易圏の形成を背景に人口移動が固定化されている。 2. メキシコや中南米、さらにはアジア系移民の増加により、国内でスペイン語が広く使われるなど、多様な文化が共存する社会となっている。 3. かつての奴隷貿易によるアフリカ系の人々の流入が現在の人口増加の主因であり、移民による構成の変化は限定的である。 4. 移民のほとんどがヨーロッパ出身者で占められていた19世紀以前の状態に戻りつつあり、宗教や言語の多様性は失われつつある。
- 問6 アメリカ合衆国の北アメリカ州における農業と輸送の関係について述べた次の文のうち、ミシシッピ川の役割を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 内陸部で生産された農作物を、大型トラックを用いて太平洋沿岸の港へ運ぶための主要な輸送経路となっている。 2. 西部の乾燥地帯で収穫された農作物を、メキシコ国内の市場へ直接届けるための運河として機能している。 3. 内陸部で生産された農作物を、運搬船(バージ)によって河口付近の港まで大量に運ぶルートとして利用されている。 4. 五大湖周辺で生産された農作物を、カナダを経由して北極海へ輸出するための唯一の水路となっている。
- 問7 都市の土地利用において、郊外に見られる一般的な特徴を説明したものとして正しいものを、次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 利便性が最も高いため、官公庁や企業の中心的なオフィスが狭い範囲に集中している 2. 人口密度が非常に高く、限られた土地を有効に使うために住宅が密集して建てられている 3. 地価が比較的安いため、広大な土地を必要とする大規模な施設や住宅地が形成されやすい 4. 土地の価格が極めて高いため、高層ビルや地下街を建設して土地を高度に利用している
- 問8 アメリカ合衆国の産業構造の変化について述べた次の文のうち、北緯37度以南の地域(サンベルト)の説明として最も適切なものを選びなさい。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 五大湖周辺の豊富な石炭や鉄鉱石を利用して、鉄鋼業や自動車工業などの伝統的な重工業が発展している。 2. ヒューストンの宇宙センターに象徴されるような、航空宇宙産業や電子工業などの先端技術産業が発展している。 3. 冷涼な気候を利用して、小麦の栽培や乳牛の飼育を行う酪農が盛んに行われている。 4. ミシシッピ川下流域を中心に、現在も綿花栽培のみに依存するモノカルチャー経済が続いている。
- 問9 アメリカ合衆国において、1970年代以降に工業の中心が北東部から南部に移り、北緯37度付近より南の地域で先端技術産業が急速に発展しました。この地域の呼称として適切なものを次から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. プレーリー 2. スノーベルト 3. サンベルト 4. シリコンアイランド
- 問10 情報化の進展に伴う各国の高校生の生活習慣の国際比較について、アメリカ合衆国のインターネット利用状況と人間関係の傾向を述べた文として正しいものを選びなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 1日の利用時間が4時間以上の層は一定数存在するが、ネット上のみで会ったことのない友人が50人以上いる生徒は全体の1%未満である。 2. 4時間以上利用する生徒の割合が3割を超え、ネット上のみで知り合いが50人以上いる割合も他国と比較して高い傾向にある。 3. インターネットの利用時間は他国に比べて極めて短いが、ネット上のみの友人数は他国を圧倒して多い。 4. 利用時間は日本と同程度であるが、インターネット上の友人数は4か国中で最も少なく、対面での関係を重視している。
- 問11 アメリカ合衆国における移民の出身地域は、時代とともに大きく変化しています。1960年の統計ではヨーロッパ州からの移民が過半数を占めていましたが、2020年の統計ではその割合が激減し、代わって出身地域別人口割合で最も高い比率を占めるようになった地域はどこですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. アフリカ州 2. 東ヨーロッパ地域 3. 南北アメリカ州 4. オセアニア州
- 問12 アメリカ合衆国で「適地適作」という農業方式が発達した背景と、その特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 広大な国土の中で、地形や気候などの自然環境に合わせて農作物を分けることで、生産効率を高めている。 2. 自然環境による制限を克服するため、全土で同じ灌漑設備を導入し、土地の条件を無視した栽培を行っている。 3. どの地域でも同じ農作物を均一に栽培することで、国内の食料自給率を安定させることを目的としている。 4. 都市近郊でのみ農業を行うことで、輸送コストを抑える地産地消の考え方を最優先している。